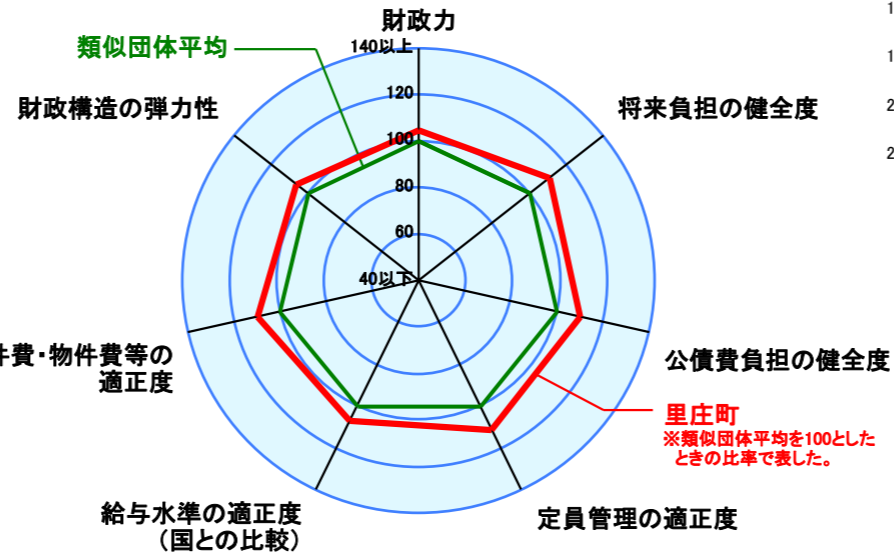
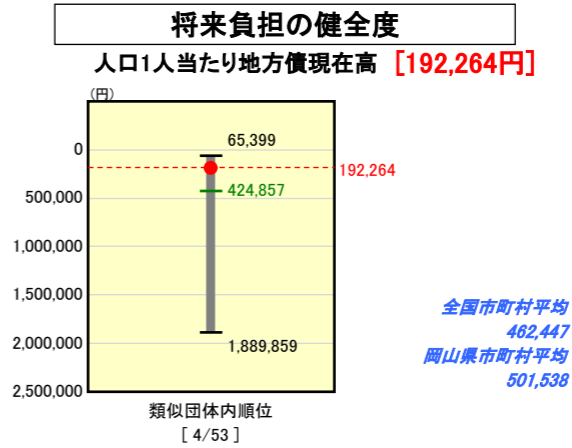
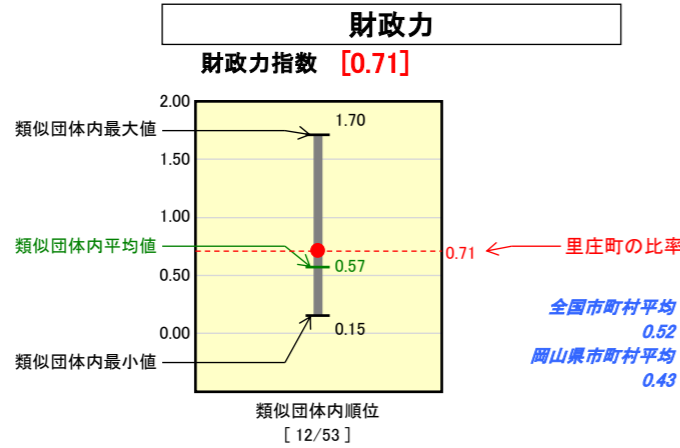


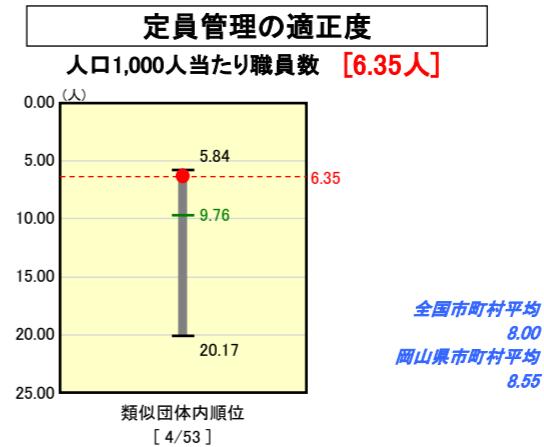
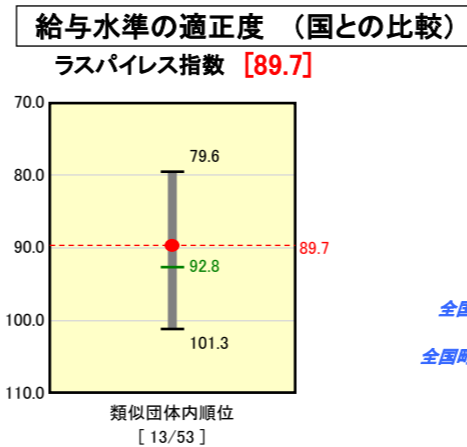
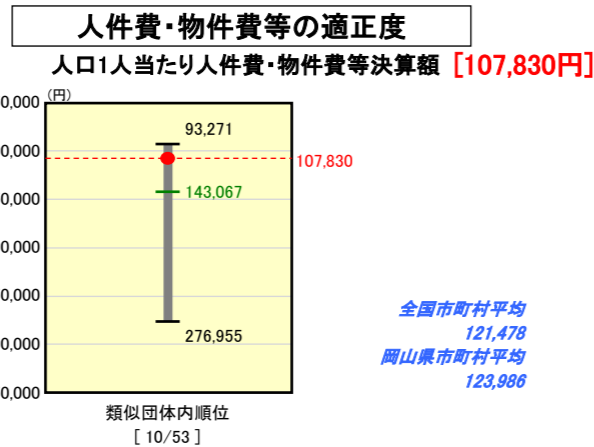
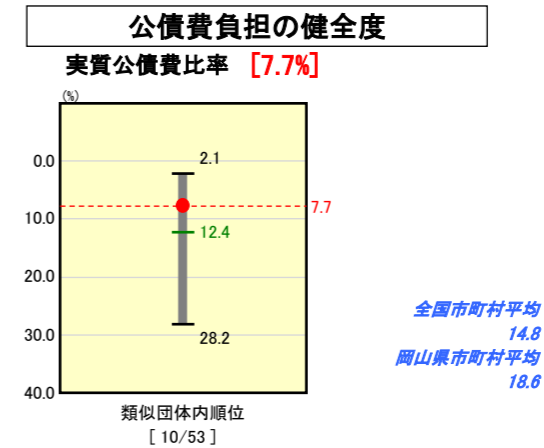
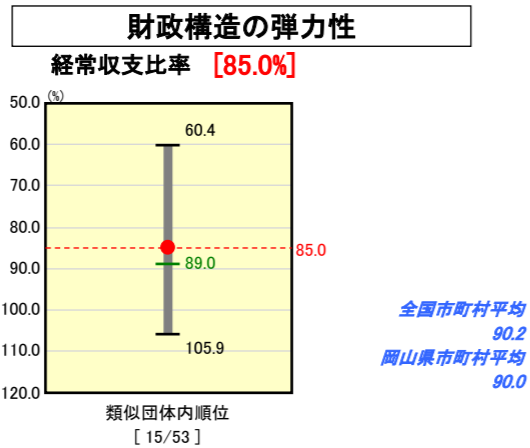
市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 里庄町

| | | |
|------|-----------|-----------------|
| 人口 | 11,026 | 人(H18.3.31現在) |
| 面積 | 12.23 | km ² |
| 歳入総額 | 3,875,929 | 千円 |
| 歳出総額 | 3,464,062 | 千円 |



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数：法人町民税の収入が特に大きいため地方税の歳入総額における割合は約35.5%と高く、これにより財政力指数は類似団体平均を上回っている。

経常収支比率：前年度より1.1%低下し85.0%と類似団体平均を下回っている。今後は町主要事業(町道新設改良事業、総合運動公園整備事業、公共下水道事業)推進により公債費、特別会計への繰出金の増額が見込まれるが、集中改革プランに掲げたとおり補助金の見直し、事務経費の節減を図るなど経常的経費を削減し、現在の水準維持に努める。

ラスパイレズ指数：89.7%と類似団体平均は下回っているが、今後も集中改革プラン等に基づき給与水準の適正化に努めるとともに、各種手当等について必要に応じ見直しを図る。

実質公債費比率：過去から起債を抑制し、可能な限り自主財源で事業を実施してきた結果、現在の7.7%という数値になっている。今後は町主要事業、特に公共下水道事業に係る起債の償還に伴い上昇していく見込みである。

人口1人当たり地方債現在高：近年大規模事業が少なかったため、現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後は

町主要事業で起債対象事業でもある町道里見229号線新設改良事業を平成23年度まで、総合運動公園整備事業を平成21年度まで実施することにより、地方債残高は両事業完了まで上昇の見込みである。他事業については地方債の発行は行わず、主要事業に集中投資することにより、類似団体平均を上回ることがないよう努める。

人口1,000人当たり職員数：類似団体平均より少ない職員数となっており、集中改革プランに掲げる職員数(平成22年4月1日で83人)達成を目指す。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額：類似団体平均と比較して適正度が低いのは、主に人件費が要因となっている。これは「人口1,000人当たり職員数」、「ラスパイレズ指数」をみてもわかるように、職